

科目名	<b>経営学基礎論</b>	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択
			国際観光学科 □必修 ■選択
英文表記	<b>Introduction of Management</b>	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	たかちほ やすなが	開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中
担当者名	高千穂 安長	修得単位	2 単位
授業のテーマ	自治体や公的機関などの公共、株式会社などの民間の事業体の経営について、基礎的な理解を得ることにより、必要な判断力が身に付く。		
到達目標	経営に関する経済記事が理解でき、経営に関して自分の意見を表明できるようになる。		
授業概要	経済学の発展科目である、経営学について、経営資源を調達し、活用し、事業体として存続していくかを理論と実践例で紹介していく。		
授業計画			
第1回	イントロダクション	経営学入門で学ぶこと、成績評価等の解説	企業経営入門
第2回	企業と社会		
第3回	コーポレート・ガバナンス		
第4回	企業形態・組織形態		
第5回	経営組織		
第6回	経営理念と経営戦略		
第7回	技術開発		
第8回	生産管理		
第9回	財務・会計		
第10回	人的資源管理		
第11回	モチベーションとリーダーシップ		
第12回	流通経営		
第13回	マーケティング		
第14回	国際経営		
第15回	総復習	学生の理解が低い箇所について解説	
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	授業前に各授業時に配布されるレジюмеについて目を通しておく 分からないことは自分なりに調べておく		
履修条件 受講のルール	特にシークエンス条件はないが、自分が将来就職したいと考えている組織について調べておくのが望ましい。		
テキスト	毎回、次回講義レジюмеを配布する。		
参考文献・資料	1 中原秀登 『基本経営学』 新世社（中公新書）2004年 2 伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門』日本経済新聞社2003年		
成績評価の方法	出席が2/3に満たない場合は受験を認めない。また、遅刻は1回につき1/3欠席とする。 成績評価は、受講態度(含討議参加度)など平常点40%、期末テスト40%、ミニテスト等20%とする。 出席が規定に満たなかった場合、授業料その他納入金が未納の場合は試験を受けることができません。		
オフィスアワー	集中講義時間はいつでもオープン		
成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015）以前に入学した学生		

	優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生への メッセージ	経営活動は経済活動の最前線です。自分が将来就職したい組織がどのようなになっているかを知ることは就活行動と一体です。効率よくしっかり理解すれば、就職達成に確実に近づきます。